

お の ま ち な が の ま ち
島原道路(小野町～長野町)

第1回 説明資料

令和7年12月8日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 評価対象区間	・ ・ ・ ・	2
2. 計画段階評価手続きの進め方(案)	・ ・ ・ ・	5
3. 地域の現状と課題	・ ・ ・ ・	7
4. 政策目標(案)の設定	・ ・ ・ ・	22
5. 意見聴取方法(案)	・ ・ ・ ・	25

1. 評価対象区間

1. 評価対象区間＜対象区間の概要＞

- 島原道路は、島原地域と長崎自動車道を連絡する高規格道路。
- 対象区間は、島原道路において唯一の未事業化区間。



1. 評価対象区間＜島原道路について＞

- 長崎県新広域道路交通計画における広域道路ネットワークの一部を担う高規格道路として位置付け。
- 諫早市、雲仙市、島原市の各種計画においても、産業・観光・救急等における広域な連携を強化する重要な路線であると位置付け。

■長崎県新広域道路交通計画（R3.6）

- 下記の基本方針に則って、広域道路ネットワーク計画を策定
 - ・主要都市間における多軸型ネットワークの構築
 - ・高速交通ネットワークと一体となった道路ネットワークの構築
 - ・都市部における交通の円滑化
 - ・既存ネットワークの機能強化、代替性の確保

■周辺自治体における島原道路の位置付け

諫早市都市計画マスタープラン（R2.3）

「島原道路」の整備により、市街地の慢性的な交通混雑の緩和に加え、産業の振興による地域の活性化や救急医療体制の強化が図られることが期待

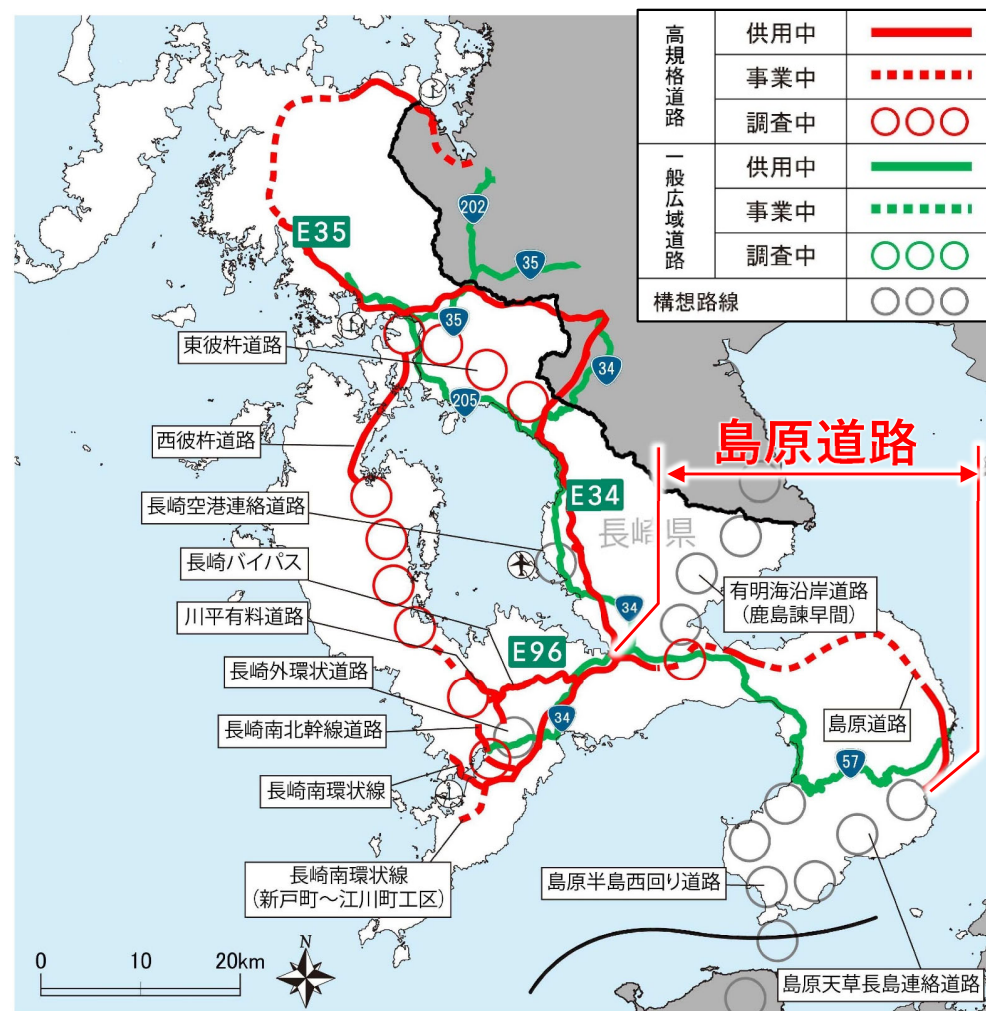
雲仙市都市計画マスタープラン（H23.3）

国道57号、国道251号、国道389号、諫早湾干拓堤防道路、地域高規格道路島原道路、島原鉄道及び多比良港から熊本県長洲町への航路を「都市間幹線道路」と位置付け、各拠点の連携強化を図るとともに、都市間の交流を促す骨格的な道路として整備・改善を促進する

島原市都市計画マスタープラン（H28.1）

広域連携軸としての地域高規格道路「島原道路」は、観光や物流、救急医療等、他地域との高速交通を強化する重要な都市基盤施設であり、沿道の環境との調和を図りながら、早期の完成を目指す

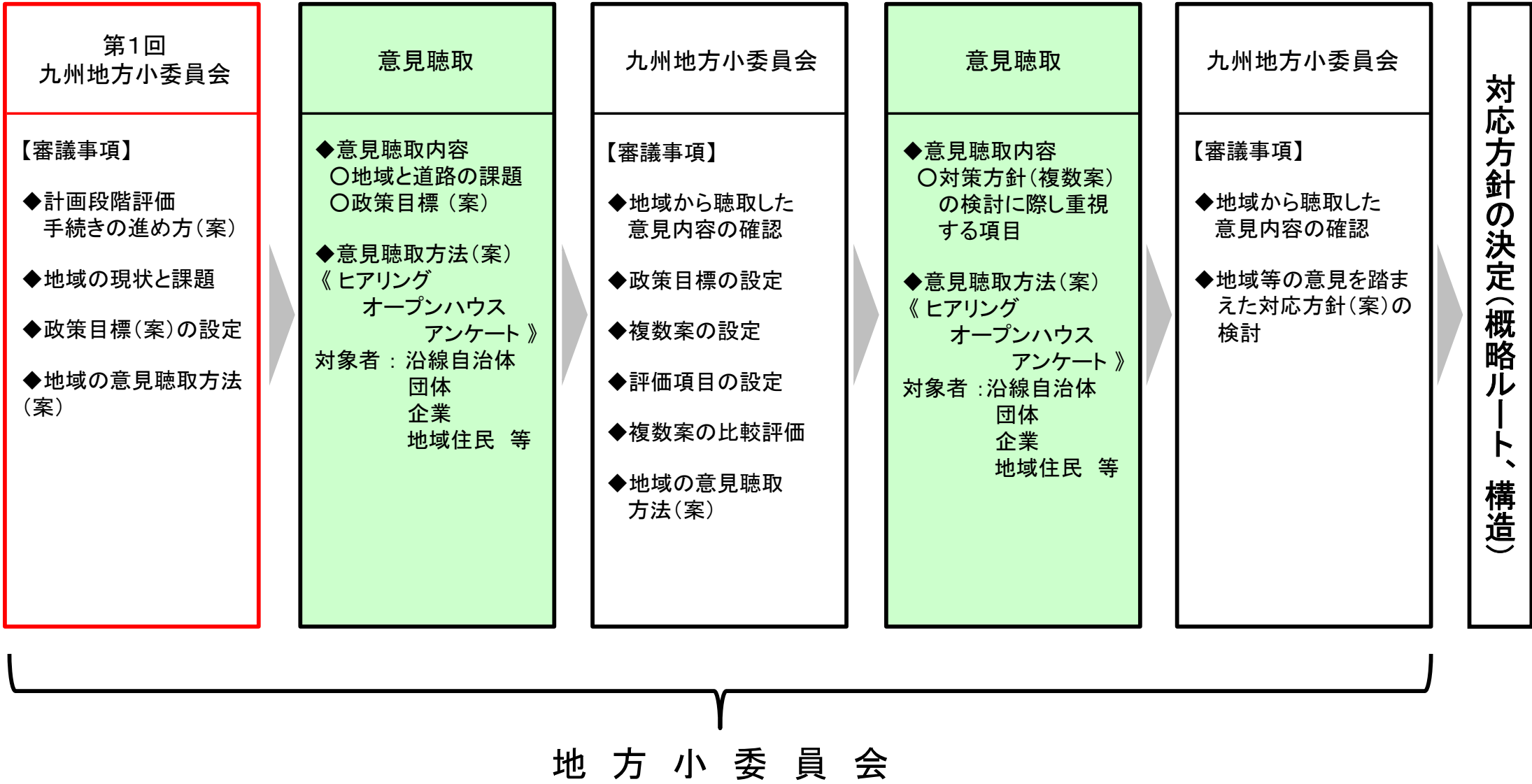
■新たな広域道路ネットワーク



2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【令和7年12月8日】

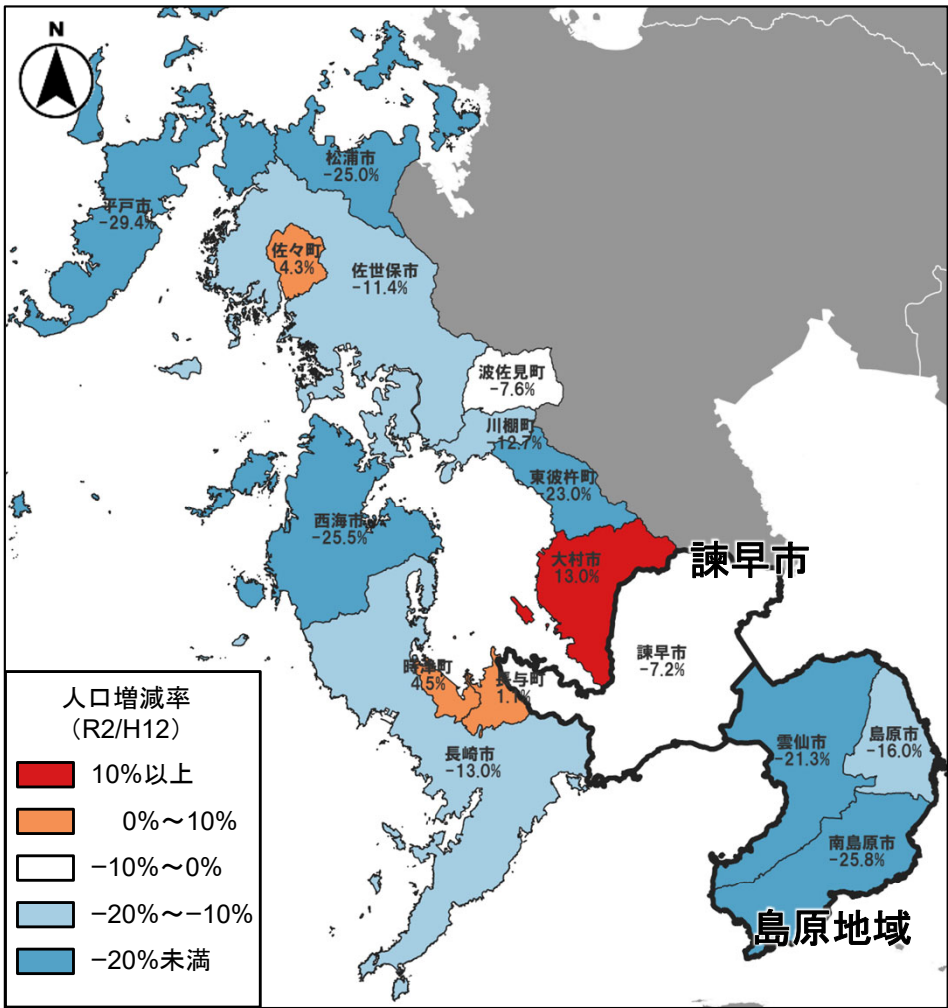


3. 地域の現状と課題

3-1. 地域の現状<人口・高齢化率>

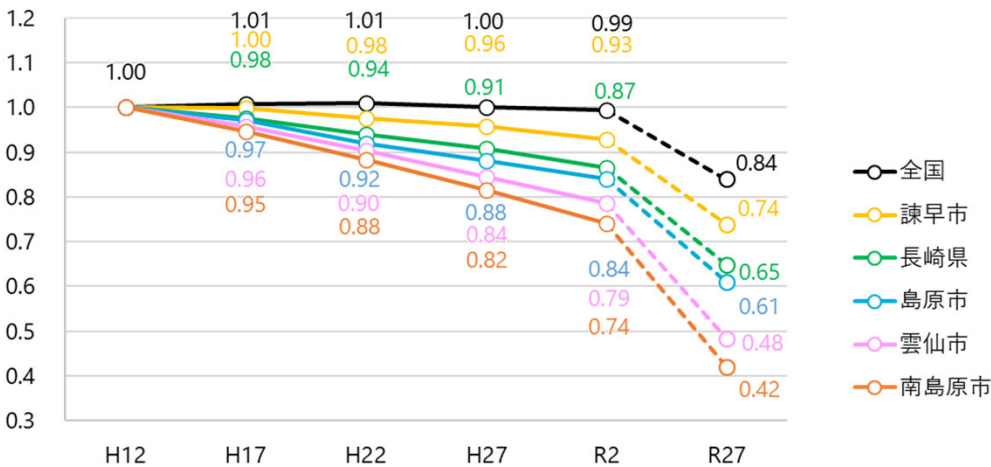
- 諫早市・島原地域では、人口減少が著しく、全国と比べて人口の伸び率は低い状況。
- また、諫早市・島原地域においては、今後も人口減少・高齢化が進行すると予想。

■長崎県内の人口増減率の状況（R2/H12）



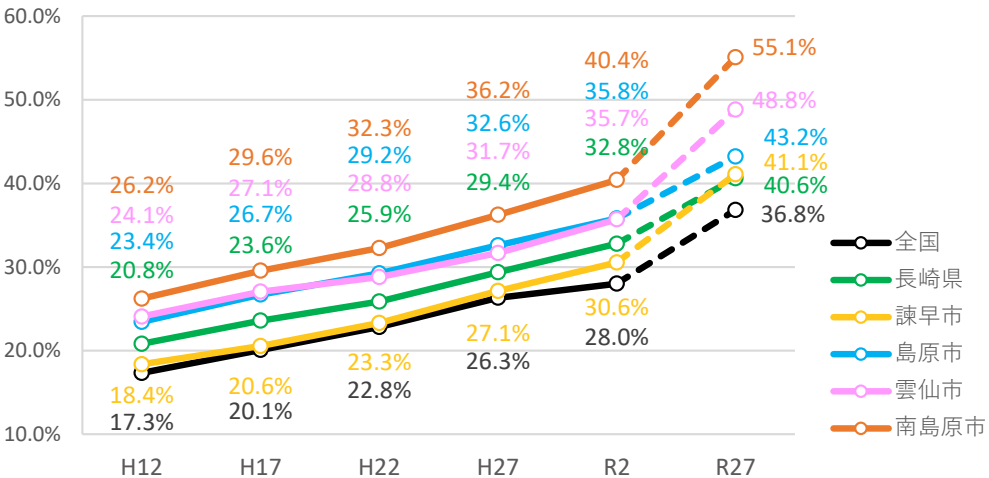
資料：国勢調査（R2/H12）

■人口の伸び率（H12-R2）



資料：国勢調査（H12-R2）、国立社会保障・人口問題研究所（R27）
（H12を1.00として表示）

■高齢化率の推移（H12-R2）

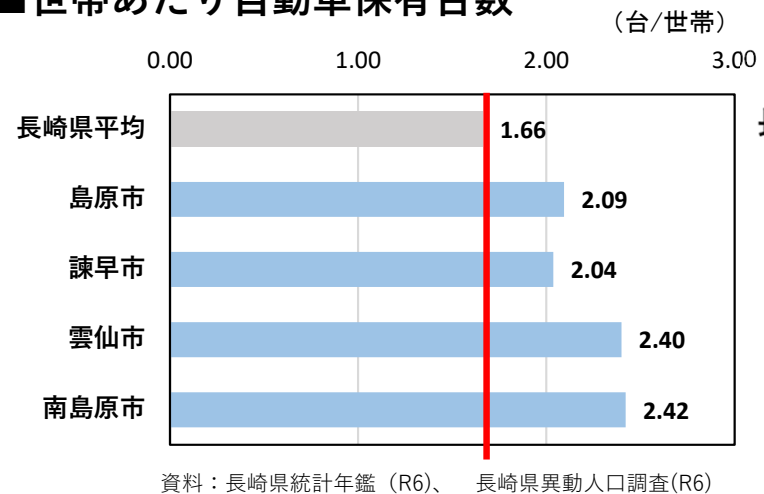


資料：国勢調査（H12-R2）、国立社会保障・人口問題研究所（R27）

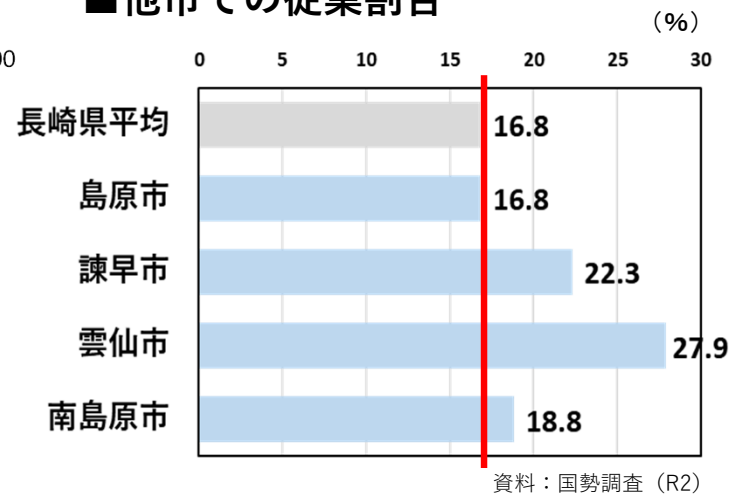
3-1. 地域の現状<暮らし>

- 諫早市・島原地域の世帯あたり自動車保有台数は長崎県平均より高く、世帯あたり2台以上の自動車を保有しており、**自動車への依存が大きい**。
- 長崎県平均と比較して**諫早市、雲仙市は他市への従業割合が高く、広域的な通勤の流動がある状況**。
- また、対象区間沿線は家電量販店やホームセンター等の**集客力のある店舗が立地**。

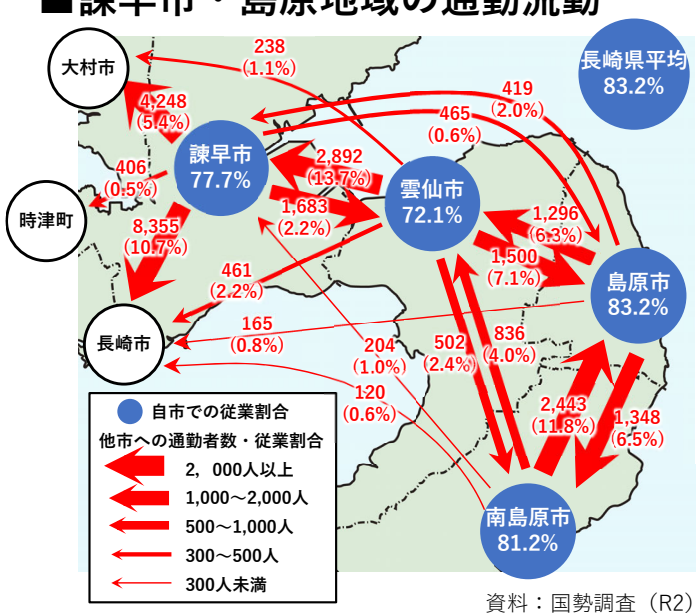
■世帯あたり自動車保有台数



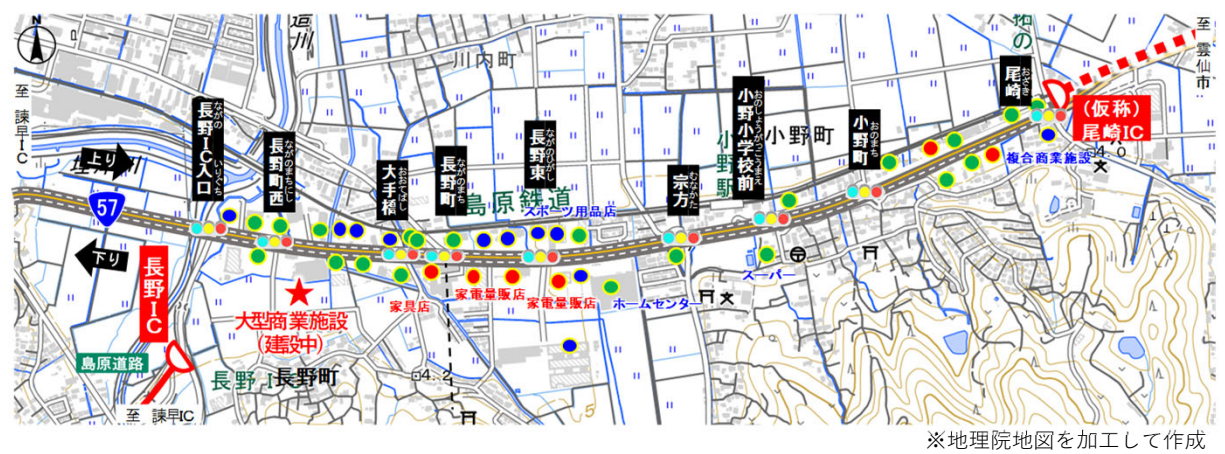
■他市での従業割合



■諫早市・島原地域の通勤流動



■国道57号小野町～長野町における沿線の店舗立地状況



【凡 例】

交差点名 主な交差点

- 島原道路 -

開通済み (赤線)

事業中区間 (点線)

- 沿道店舗開業時期 -

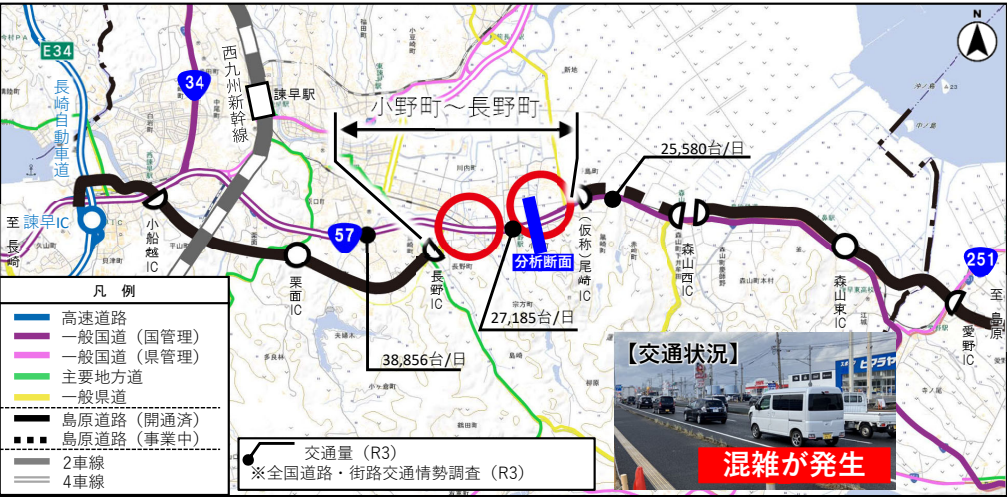
- 2010年以前 (緑)
- 2011年～2020年 (青)
- 2021年以降 (黄)

※R7.11時点

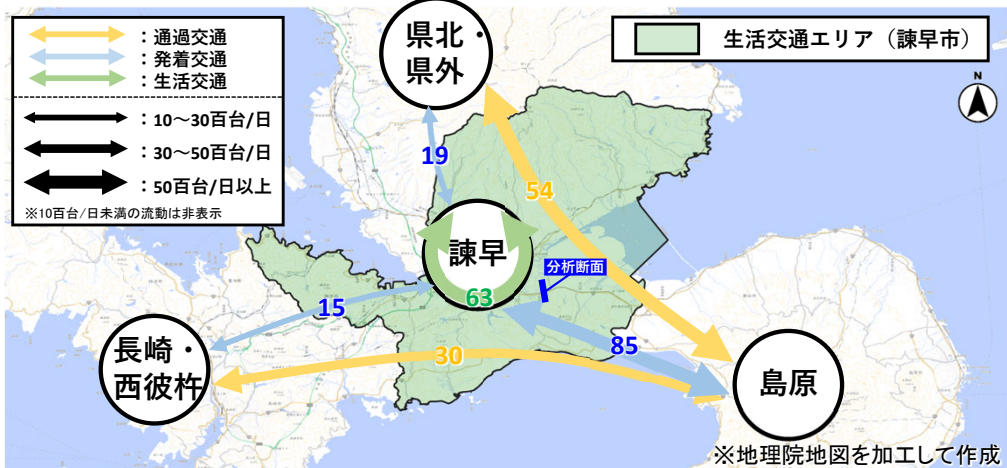
3-1. 地域の現状<交通特性>

- 対象区間の国道57号の交通量は約2.7万台/日であり、**長崎県平均(4車線郊外部)**と比較して**速度が低い状況**。
- 速度低下の要因として、**諫早市内の生活交通や通勤・通学などの発着交通、観光・物流目的の通過交通が混在**。
- 平均トリップ長は、高速道路に近い水準。

■位置図



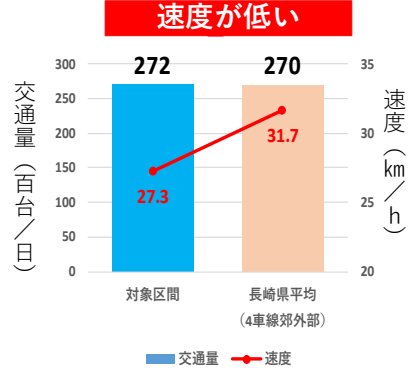
■対象区間の現況自動車流動



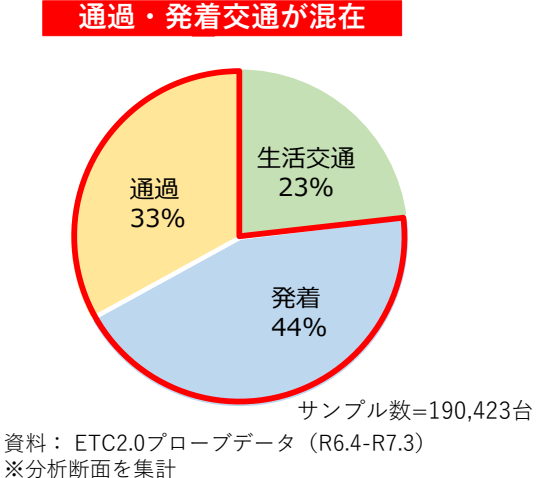
資料：ETC2.0プローブデータ (R6.4-R7.3)、全国道路・街路交通情勢調査 (R3)
【算出方法】対象区間の日交通量(272百台/日)にETC2.0プローブデータより集計した分析断面を通過する車両の流動割合を乗じて算出

■島原道路(小野町～長野町)の交通特性

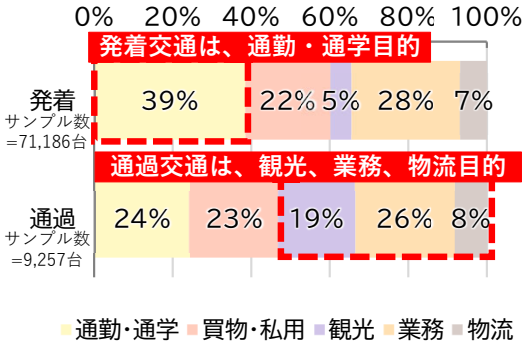
【交通量】



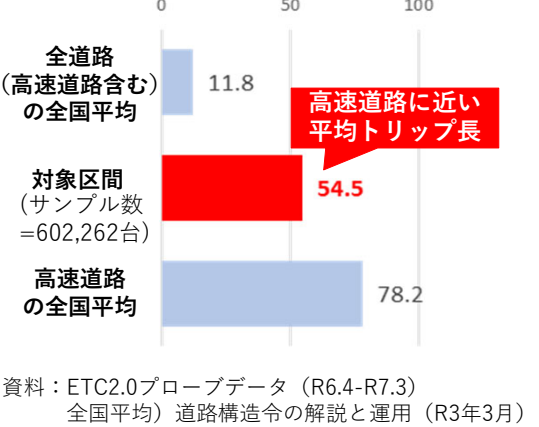
【道路の使われ方】



【利用目的】



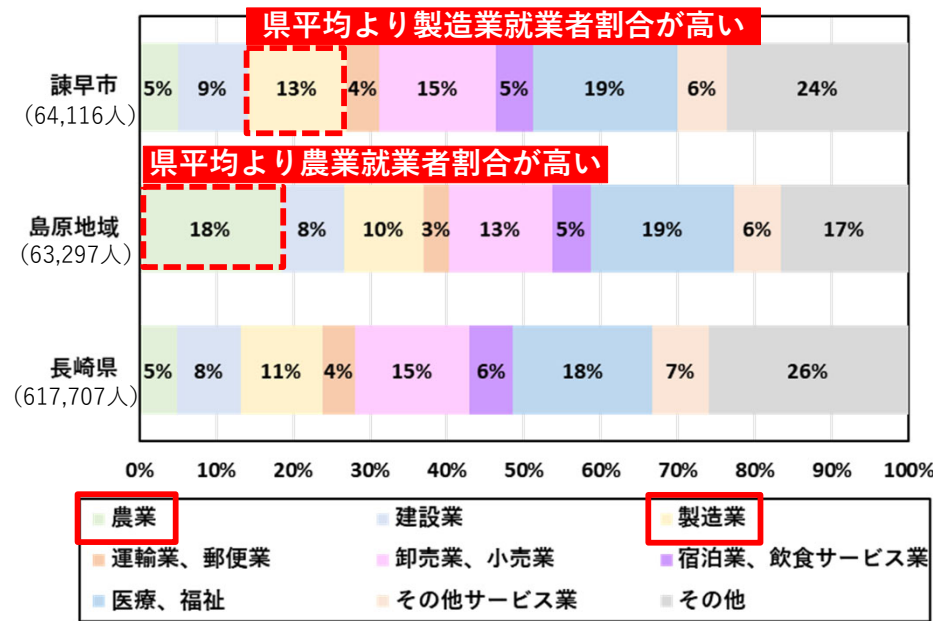
【平均トリップ長】



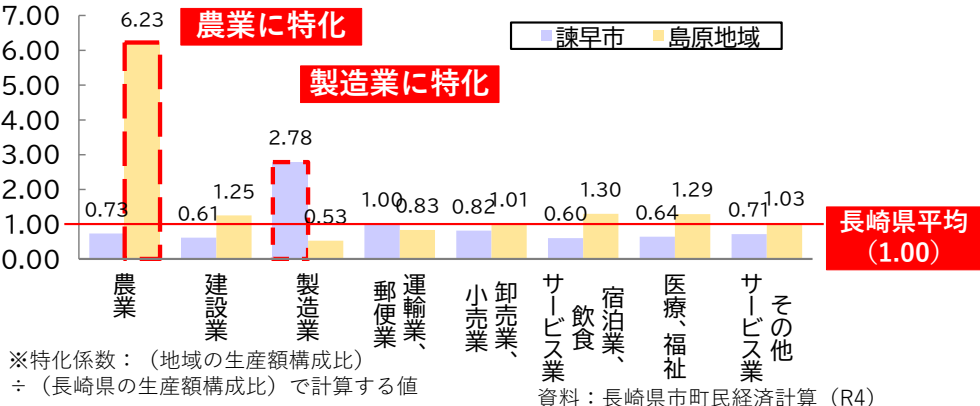
3-1. 地域の現状<産業構造>

- 諫早市は製造業、島原地域は農業の就業者人口割合や生産額の構成割合が県平均よりも高い。
- 諫早市において工業地域は諫早IC周辺に集積しており、島原地域は広域に農業地域が分布。

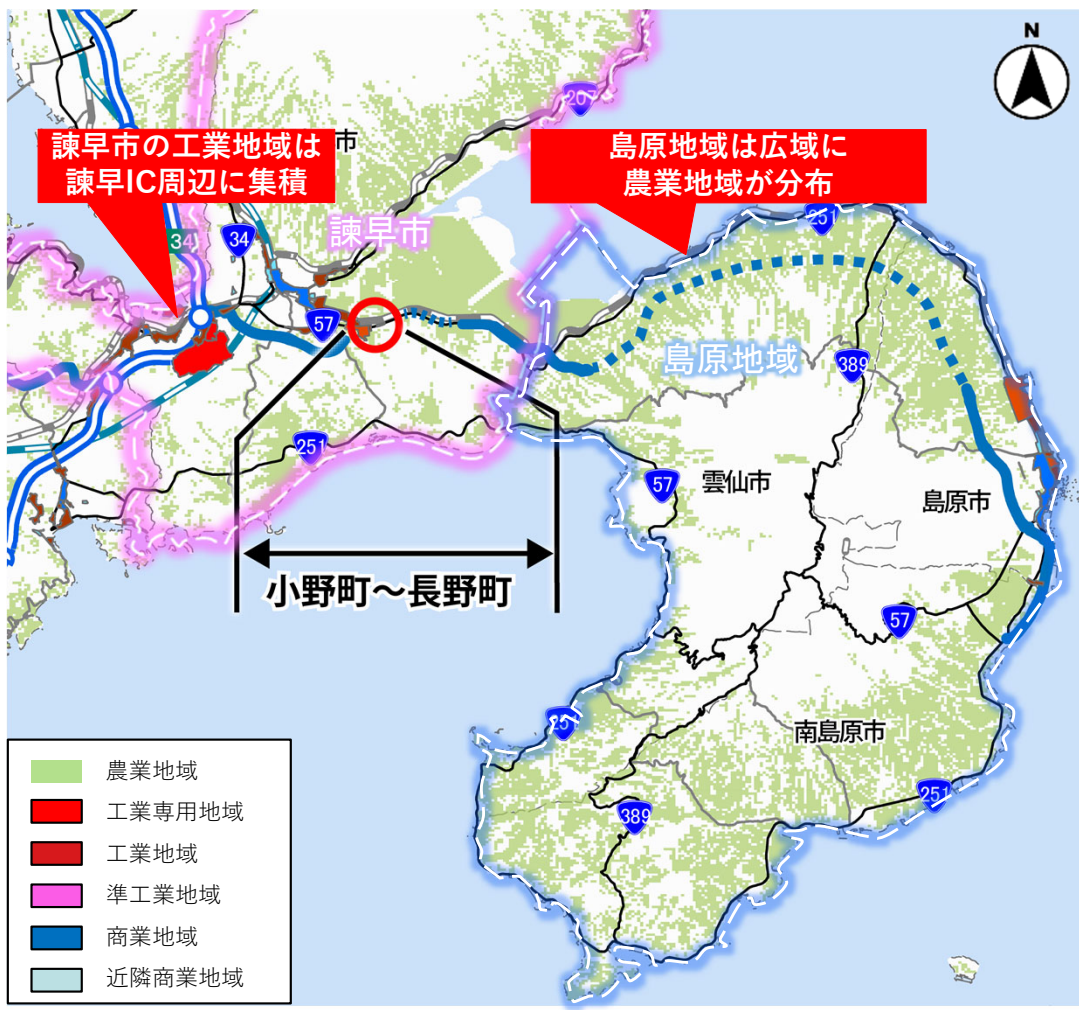
■産業別就業者人口割合



■諫早市・島原地域の産業構成バランス
（長崎県平均を1.00とした場合との比較）



■産業別土地利用の状況



資料：国土数値情報
土地利用細分メッシュデータ（R3）、都市計画決定情報（R4）

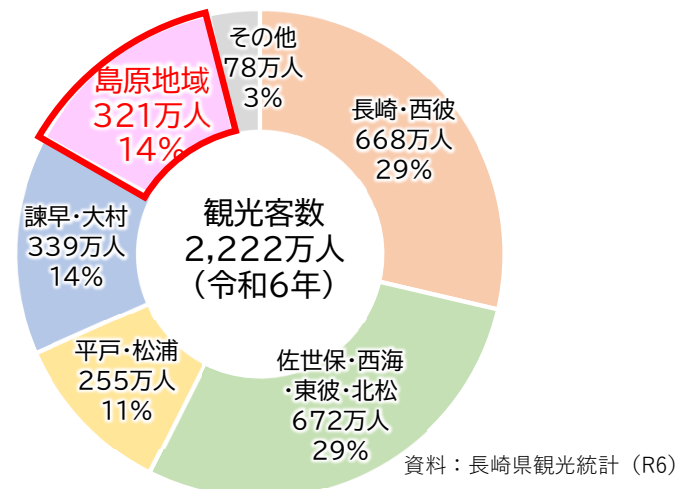
3-1. 地域の現状＜観光＞

- 島原地域には、世界文化遺産に登録された原城跡や雲仙温泉をはじめ、歴史や自然などの**魅力ある観光地が数多く点在し**、長崎県内の約14%となる**年間約321万人の観光客が来訪**。
- 島原地域への観光客の約半数は県外からの来訪者であり、諫早ICや諫早駅といった諫早方面からのアクセスだけでなく、熊本方面からのフェリー利用も見られる状況。

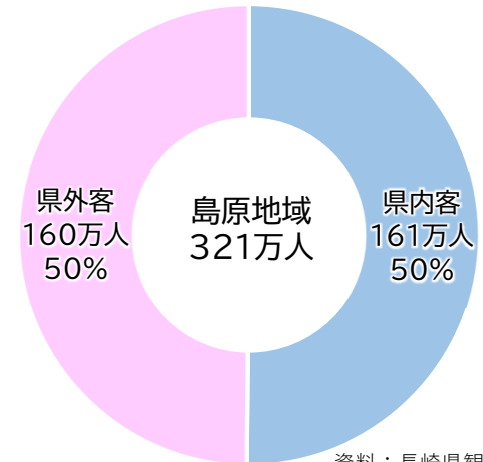
■島原地域の観光地



■長崎県内における地域別観光客数



■島原地域の観光客内訳

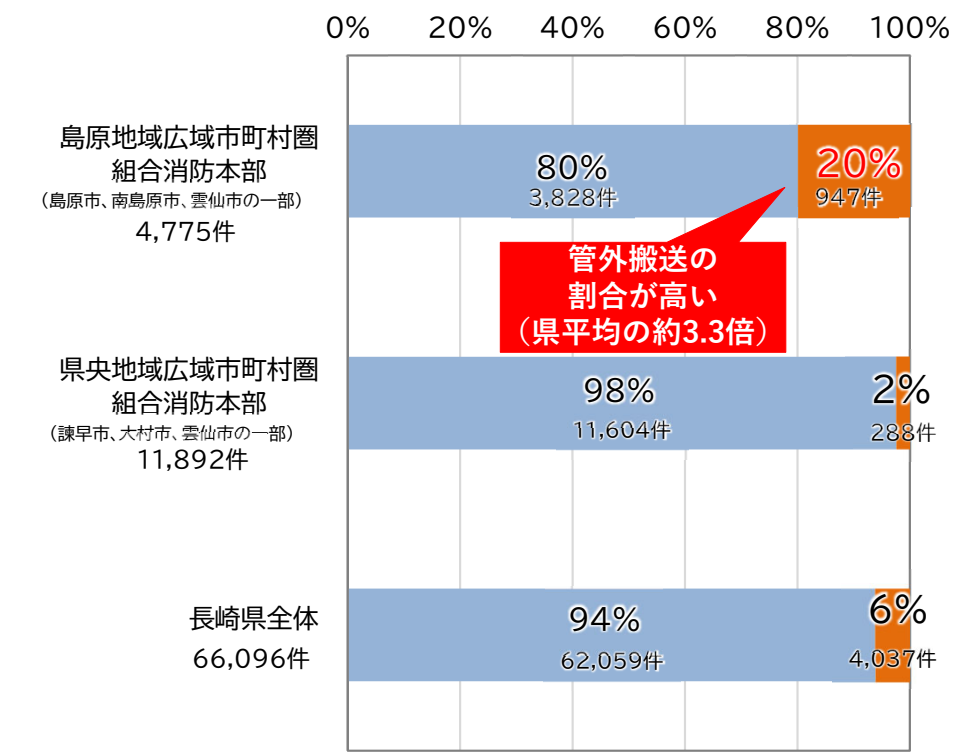


資料：国土数値情報観光資源データ、(一社)長崎県観光連盟、南島原市企画振興部

3-1. 地域の現状<地域医療>

○島原地域には高度な医療を提供する第三次救急医療施設がないため、処置が困難な場合は大村市や諫早市などの管外の病院に搬送する割合が高い(長崎県平均の約3.3倍)。
○また、島原地域には第三次救急医療施設まで60分以上を要する地域が存在。

■救急搬送件数の管内・管外の割合



管内搬送

管外搬送

資料：長崎県消防防災年報（R5）

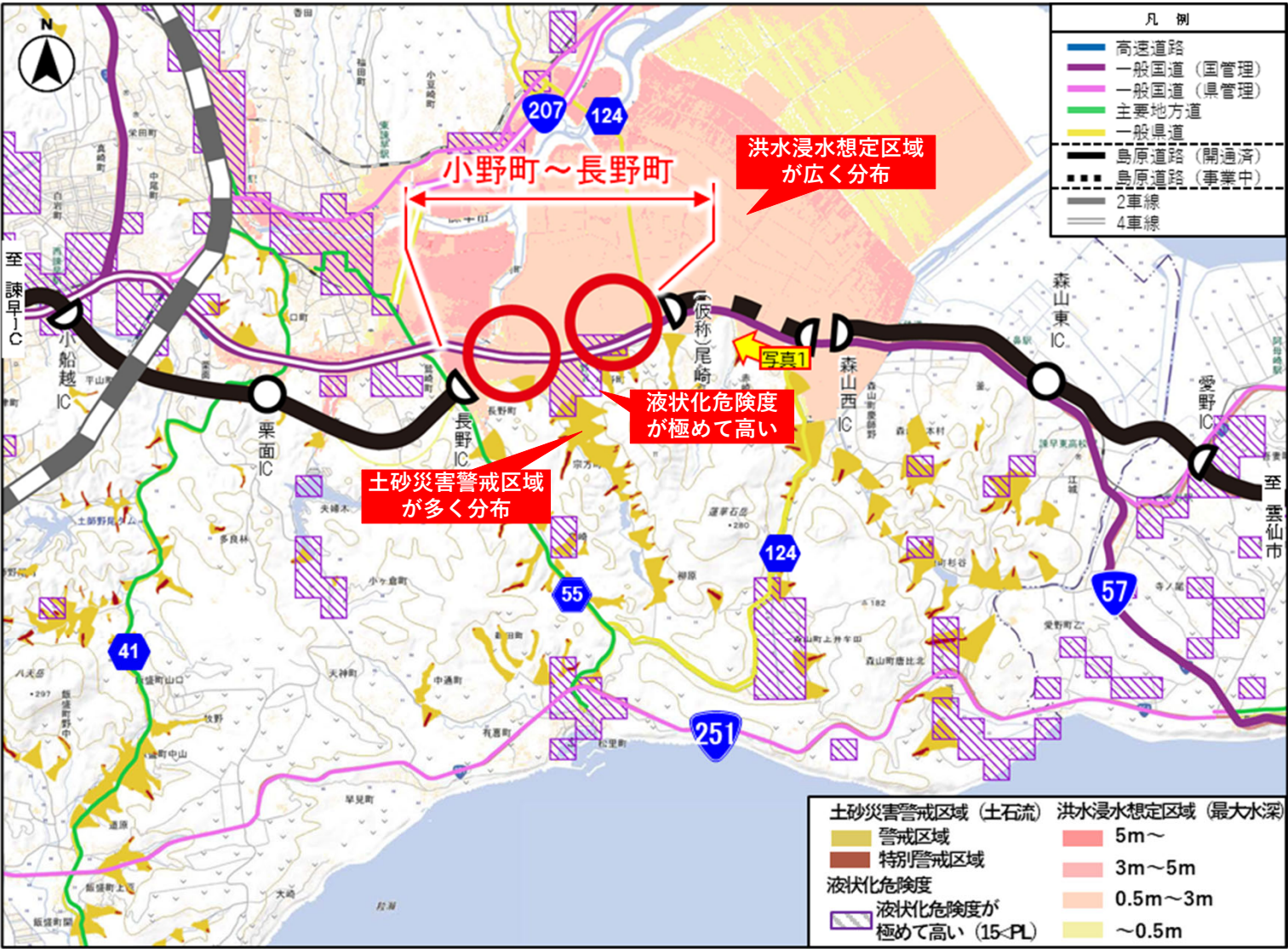
■第三次救急医療施設までの時間圏



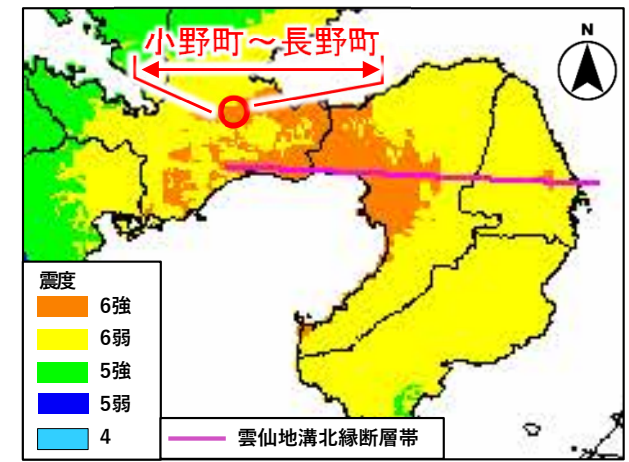
3-1. 地域の現状＜防災＞

- 対象区間周辺の諫早平野は干拓により形成された低平地のため、**浸水リスクが高い**。
- また、土砂災害警戒区域や活断層による地震など**災害リスクが高い**。

■被災リスク（豪雨による浸水・土砂災害、地震による液状化）



■雲仙地溝北縁断層帯による推計震度分布



資料：長崎県地震等防災アセスメント調査報告書（H18）

■対象区間周辺での被災状況

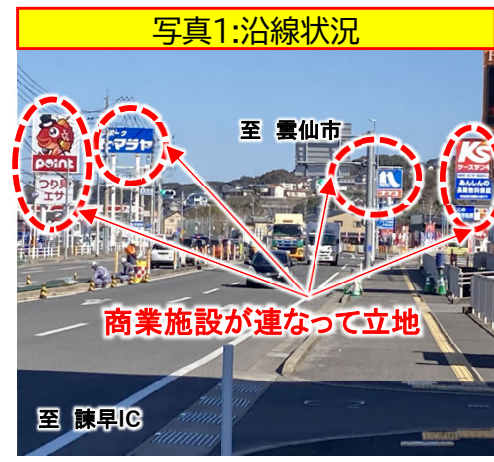
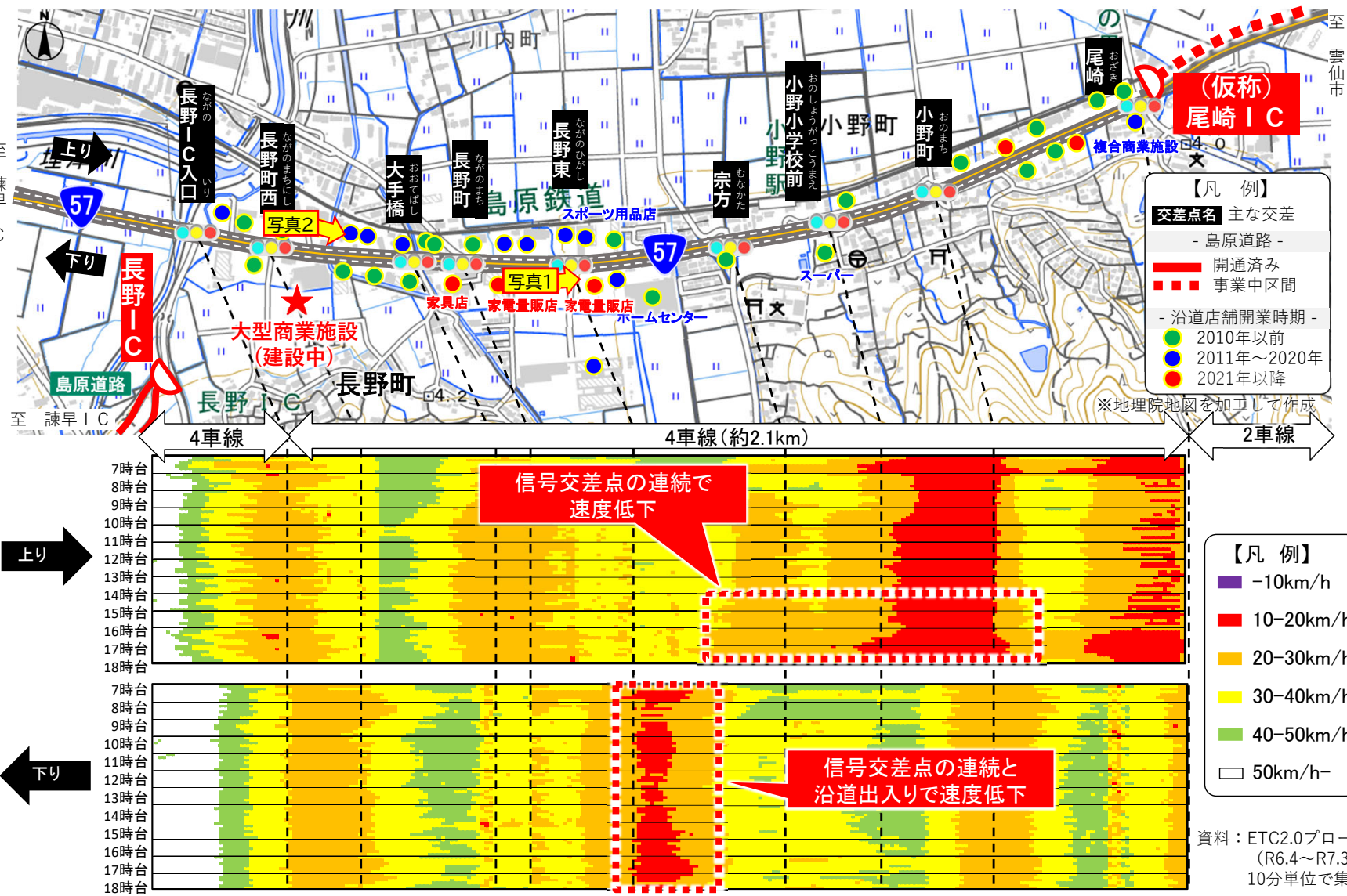
写真1：洪水発生状況（H9）



資料：諫早市ハザードマップ（H31）、長崎県地震等防災アセスメント調査報告書（H18）、長崎県通行規制（R2～R6）に基づき作成ハザードマップポータルサイトを加工して作成

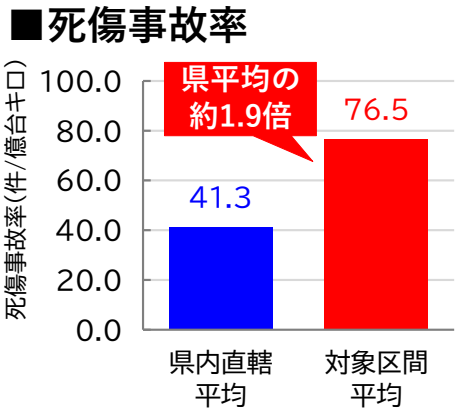
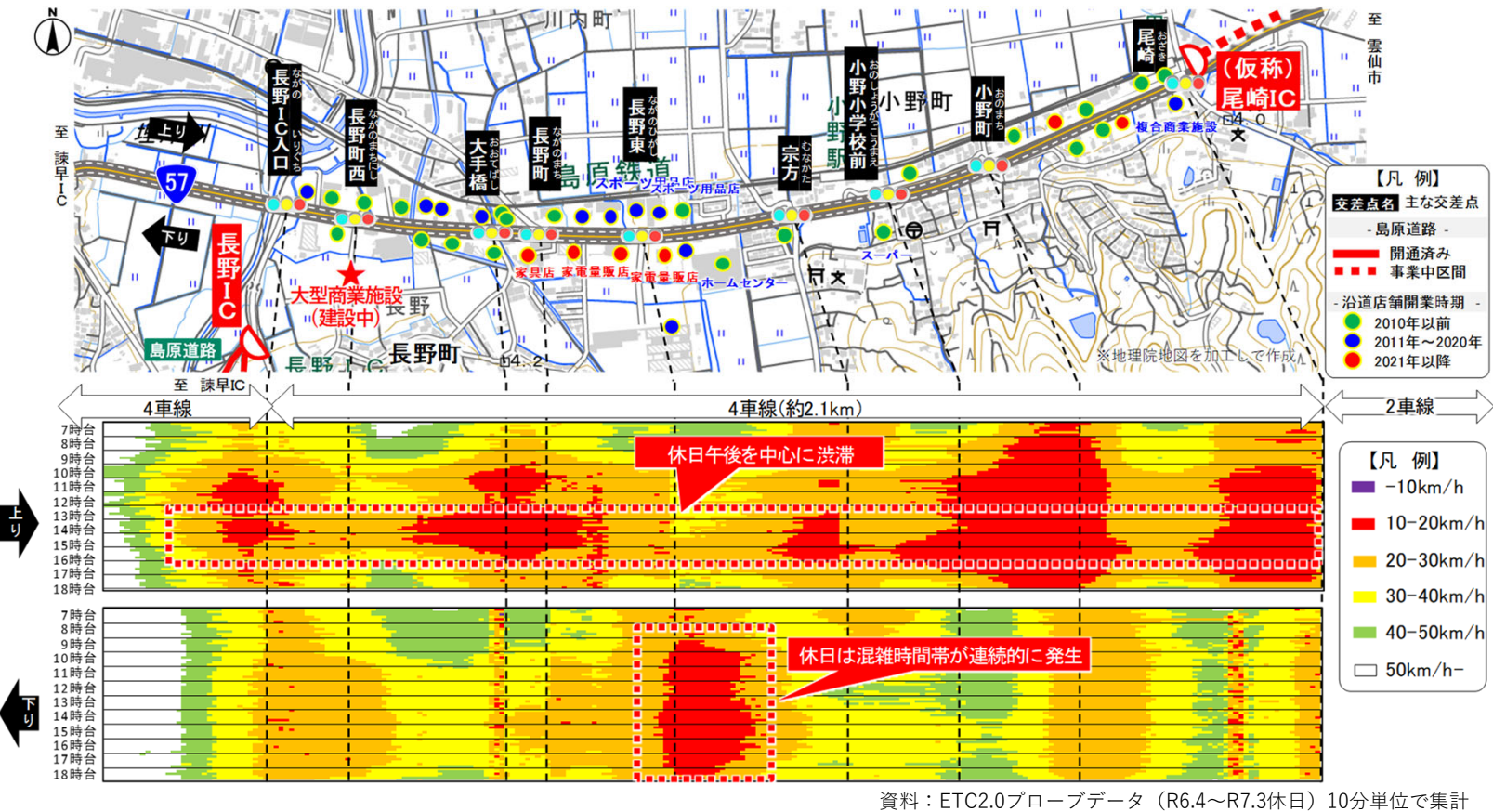
3-2. 地域の現状と課題<暮らし:渋滞(平日)>

- 対象区間は約2.1kmの間に信号交差点9箇所が連続していることや、沿線商業施設への出入り等に起因して、旅行速度が20km/h以下となる著しい混雑が発生。
- 大型商業施設の建設や家電量販店など集客力のある店舗が立地するなど、交通流動の変化への対応が課題。



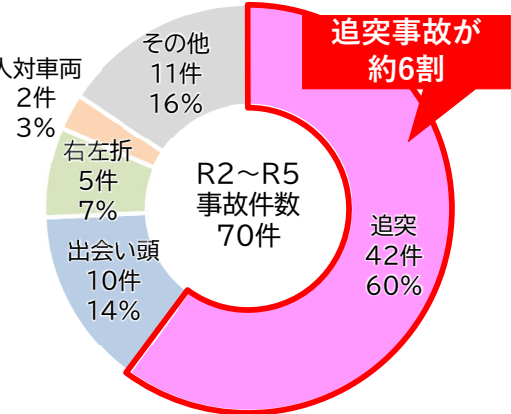
3-2. 地域の現状と課題<暮らし:渋滞(休日)・事故>

- 対象区間は平日に比べて休日の速度低下が著しく、特に上り線の13時～16時頃は尾崎交差点～長野IC入口交差点の**広い範囲で連続的に旅行速度が20km/h以下の状況**。
- 対象区間においては速度低下等に伴う追突事故の発生が多く、**交通安全性の確保が課題**。



資料：交通事故総合データベース（R2～R5の死傷事故率（4年間平均））
区間：尾崎交差点～長野IC入口交差点

対象区間の死傷事故類型



資料：交通事故総合データベース（R2～R5の事故件数）
区間：尾崎交差点～長野IC入口交差点

地域の声

対象区間は沿線施設への**出入り交通が多く、特に休日は混雑している**。
今後、大型商業施設の立地も予定されているので、更に混雑が悪化するのではと懸念している。
(物流事業者)

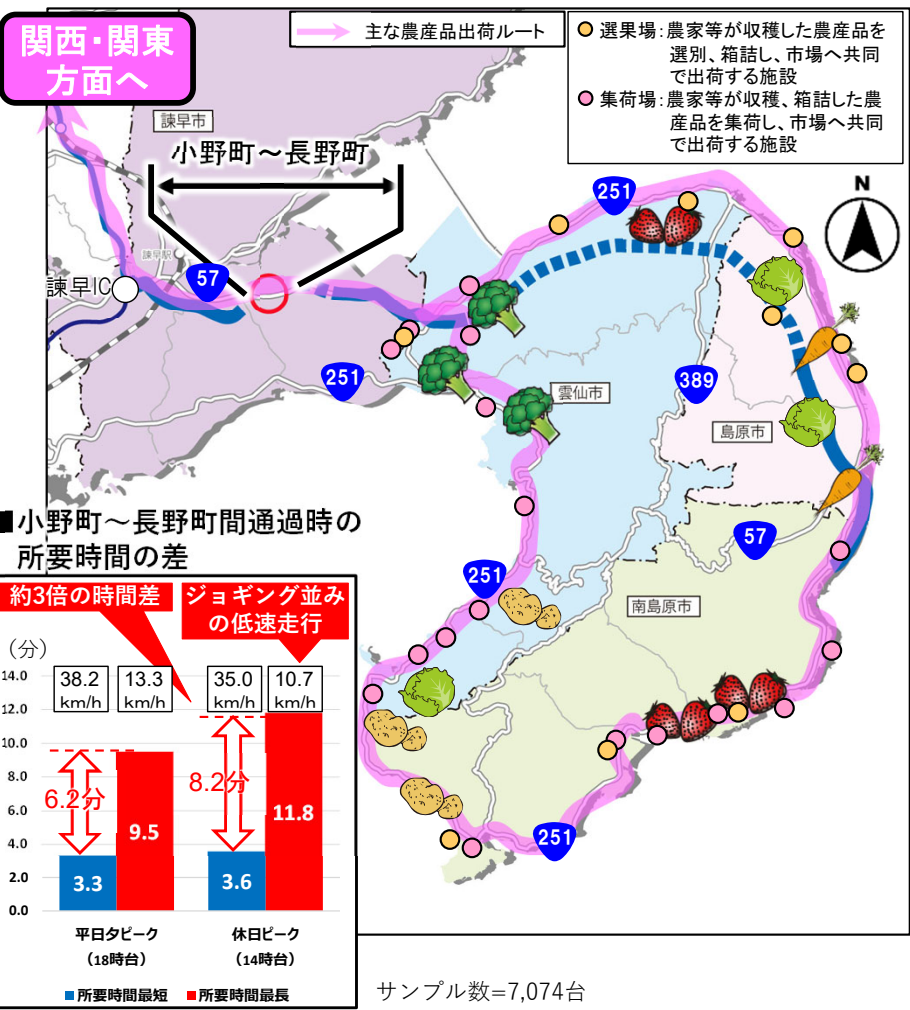


資料：ヒアリング調査（R7.1）

3-2. 地域の現状と課題<産業：物流活動>

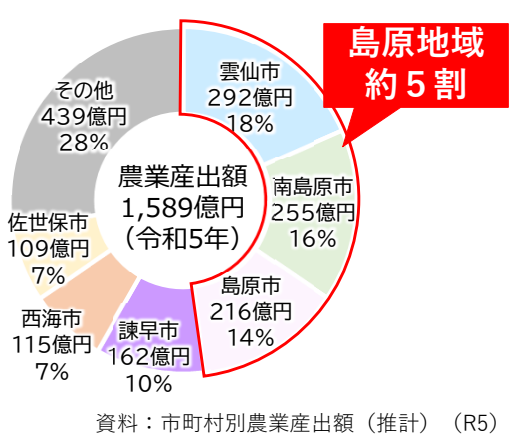
- 島原地域は県内の農業産出額の約5割を占める農産物の生産地であり、出荷の際は対象区間や諫早ICを経由して関西・関東など全国各地に輸送。
- 一方で、混雑や交差点の連続により定時性や走行性が確保されていないため、物流活動に支障をきたしている。
- 新鮮な農産物をいち早く、安定的に品質を保って出荷するため、速達性の向上や定時性・走行性の確保が課題。

■島原地域の主な農産物の生産地と出荷ルート



資料：ETC2.0プローブデータ（R6.4～R7.3）
※所要時間の上位5%値と下位5%値の時間差で評価

■長崎県の農業産出額の割合



■島原地域の主な農産物と出荷先

販売高順位	作物名	数量	販売高	全国長崎県順位	出荷先割合									
					北海道	東北	関東	東海	北陸	関西	四国	中国	九州県外	長崎県内
1	いちご	5,775t	75億円	6位			24%			61%	8%	6%	1%	
2	ばれいしょ	20,747t	45億円	3位			65%	11%		12%	5%	5%		2%
3	子牛(黒)	5,450頭	35億円	20位	5%			10%				35%	50%	
4	だいこん	23,624t	14億円	9位						66%	30%	2%	1%	1%
5	にんじん	15,672t	13億円	5位			1%			50%	36%	8%	1%	4%
6	肉牛(黒)	981頭	12億円	11位						10%		5%	85%	
7	ブロッコリー	3,242t	11億円	7位			64%			28%	5%		2%	1%
8	レタス	9,530t	11億円	4位			33%			21%	14%	29%		3%
9	トマト	2,871t	9億円	17位			44%			34%	3%	15%	4%	
10	ソーメン	1,579t	7億円	2位						45%	10%	30%	15%	

資料：JA島原雲仙(R3)、長崎県の全国順位は作物統計調査・畜産物流通統計(R5) ※その他は生産者や関係者が購入した分

地域の声

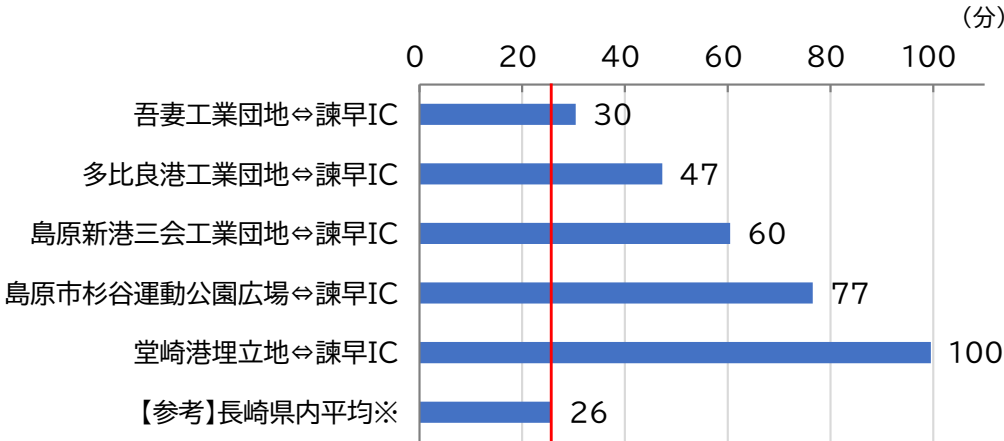
関東・関西への出荷が多く、最盛期には各集荷場から1日あたり100台以上の農作物を輸送している。対象区間は平日の夕方や休日に混雑しており、時間が読めないため、物流活動に支障をきたしている。新鮮な状態で市場に届けるとともに、2024年問題(労働時間)もあるので輸送時間は少しでも短縮したい。(JA島原雲仙及び物流事業者) 資料：ヒアリング調査 (R7.1)

高品質な野菜、果物等を傷みなく搬送することが課題。(南島原市) 資料：ヒアリング調査 (R7.2)

3-2. 地域の現状と課題<産業:企業立地>

- 島原地域は高速IC(諫早IC)への速達性が低く、過去20年間の企業誘致実績は2社のみ(県全体の約1%)にとどまり**企業誘致が進んでいない状況**。
- 今後、企業誘致を推進するためには、広域交通ネットワークが必要不可欠であり、**速達性の向上が課題**。

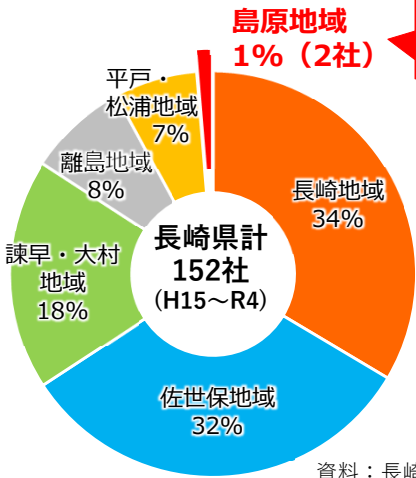
■高速道路ICから工業団地への所要時間



※H2以降立地及び立地予定の工業団地を対象に集計

資料：所要時間/全国道路・街路交通情勢調査 (R3) 昼間12時間平均旅行速度 工業団地/国土数値情報

■企業誘致の状況



企業誘致の数は長崎県全体のわずか約1%

地域の声

高速IC(諫早IC)への速達性が低く、企業誘致が進まない。半導体関連企業等の誘致推進に向け、新たな工業団地の整備等を推進しているが、速達性向上が必要不可欠です。

(島原市商工振興課)

資料：長崎県提供資料 (H15~R4)

資料：ヒアリング調査 (R7.1)

■島原地域の工業団地の分布状況



資料：半導体関連企業/九州半導体サプライチェーンマップ(R4)島原地域の工業団地/長崎県提供資料

3-2. 地域の現状と課題<観光>

- 島原地域は温泉・歴史・自然などの観光資源が豊富で、年間約321万人が来訪している。その約半数を県外客が占めており、周遊促進に向けたモデルコースが複数設定。
- 観光振興には、**観光地と高速ICなど交通拠点間の速達性向上や、定時性の確保が課題。**

■島原地域の観光地



■島原地域の主な観光地



写真：（一社）長崎県観光連盟

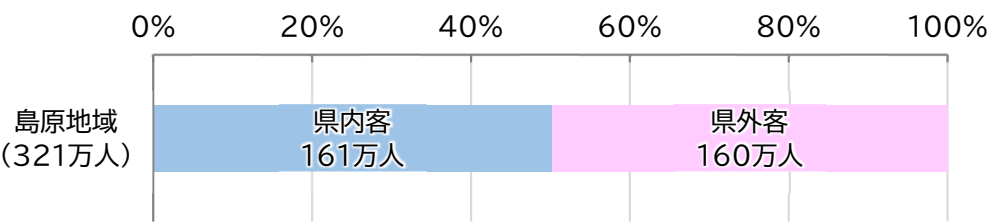


写真：南島原市企画振興部



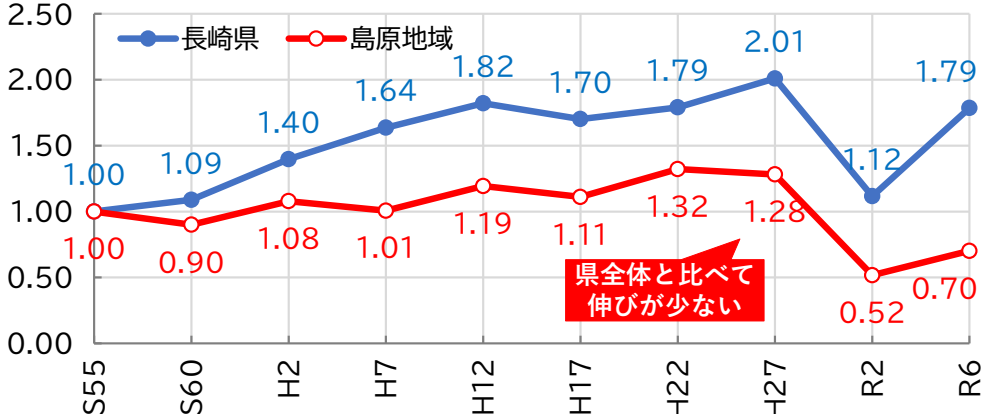
写真：（一社）長崎県観光連盟

■観光客内訳



資料：長崎県観光統計 (R6)

■観光客数の推移



資料：長崎県観光統計 (S55を1.00とした場合の推移)

地域の声

県外からの来訪者は諫早IC、諫早駅、長崎空港等の交通拠点を介しての来訪が多く、ほとんどが対象区間を利用している。各交通拠点への速達性が低いことも一因で来訪者数の伸びが少ない
(島原市しまばら観光課)

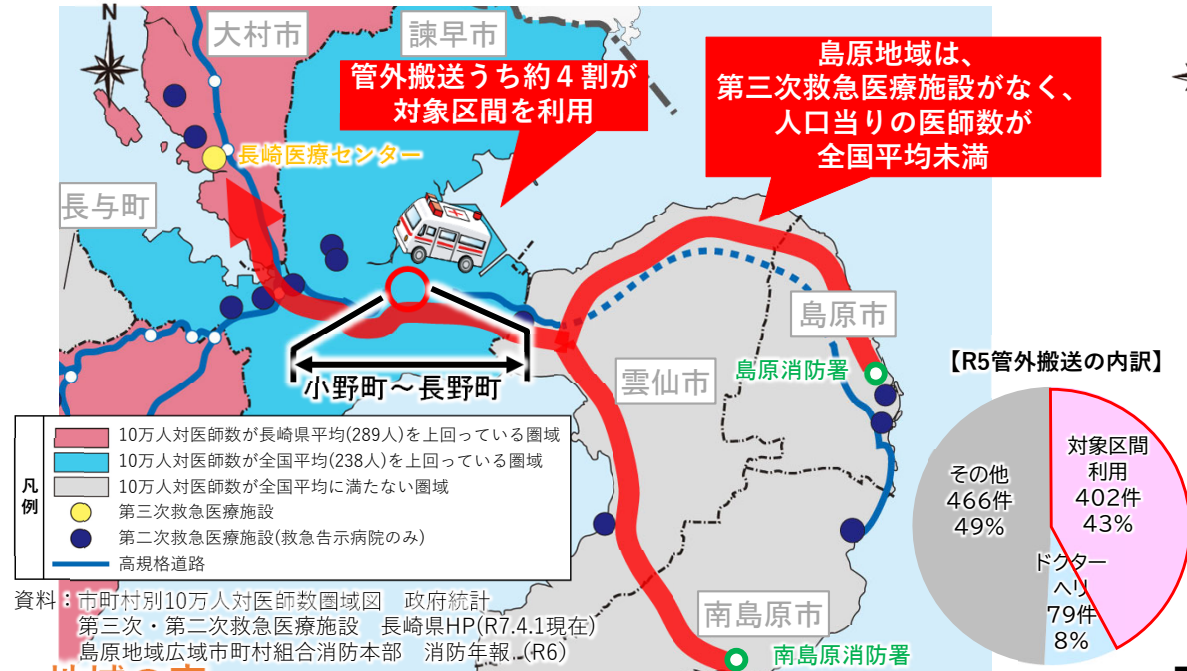


資料：ヒアリング調査 (R7.1)

3-2. 地域の現状と課題＜地域医療＞

- 島原地域は、人口当りの医師数が比較的少なく、第三次救急医療施設がないため、重篤患者等は管外への搬送を余儀なくされ、その**約4割(402件/年)が対象区間を利用**。
- 半島南部では、第三次救急医療施設から60分圏外の地域が存在しており、高度な医療をいち早く受けるためには、管外の**高次医療施設への速達性が課題**。
- また、対象区間は交差点が連続し、救急搬送時でもブレーキを繰り返す状況にあるため、**走行性の低下や揺れによる患者への負担が課題**。

■高次救急医療施設の立地状況と人口当りの医師数



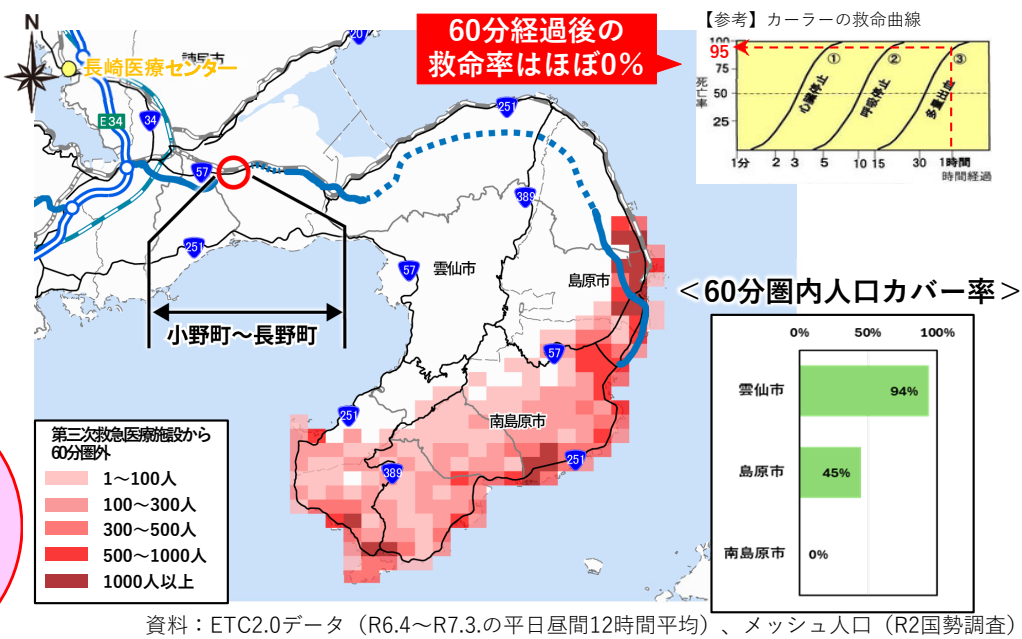
地域の声

島原地域には第三次救急医療施設がなく、医師数が不足しているため、重篤患者等は管外の病院への搬送が必要です。
管外搬送時の、約4割が対象区間を利用するが、高規格道路がつながっていないため、第三次救急医療施設へは搬送時間が60分以上かかり、**速達性が課題**。
また、対象区間は交差点が多く、ブレーキを繰り返す状況となるため、**揺れによる患者への負担も課題**。
(島原地域広域市町村圏組合消防本部)

資料：ヒアリング調査 (R7.1)



■第三次救急医療施設から60分圏外



■交差点の状況



3-2. 地域の現状と課題<防災>

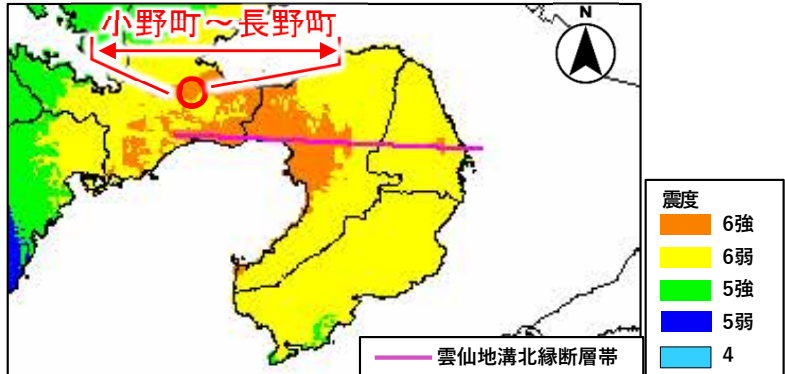
- 対象区間は豪雨による**浸水想定区域**に多くの区間が含まれ、周辺では過去に洪水被害が発生しているほか、**土砂災害警戒区域**も存在。また、雲仙地溝北縁断層帯による地震発生時には、周辺は最大震度6強の地震が想定され、**液状化リスク**が非常に高い区間も存在。
- 対象区間が災害等で通行止め時は、広域な迂回が発生し、救急搬送や企業活動に支障を及ぼすため、**災害に強い道路ネットワークの構築が課題**。

■被災リスク（豪雨による浸水・土砂災害、地震による液状化）



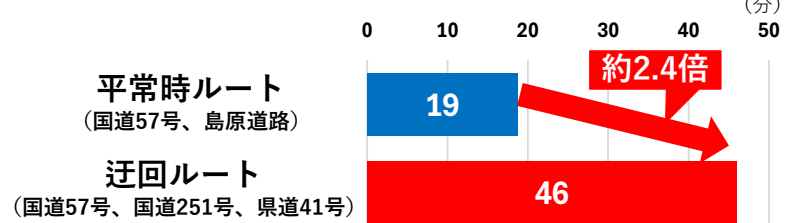
資料：諫早市ハザードマップ（H31）、長崎県地震等防災アセスメント調査報告書（H18）に基づき作成ハザードマップポータルサイトを加工して作成

■雲仙地溝北縁断層帯による推計震度分布



資料：長崎県地震等防災アセスメント調査報告書（H18）

■対象区間被災時の迂回時間（愛野IC～栗面IC）



資料：全国道路・街路交通情勢調査（R3）の混雑時旅行速度で算出
※愛野IC～栗面IC間の所要時間

地域の声

対象区間の周辺は、大型車が通行できる迂回路が少なく、国道251号等に交通が集中するため、迂回に非常に時間がかかる。
（物流事業者）

資料：ヒアリング調査（R7.1）



4. 政策目標(案)の設定

4-1. 地域の将来像

○県および市の関連計画から、地域の将来像、道路整備に関する方針を整理。

地域の将来像

【産業】

- 良質な雇用を創出する産業基盤や、**力強い産業づくりを支える道路網**など、社会資本の整備を進める。＜長崎県＞
- 本市は、現在、長崎空港から約 90 分、諫早ICから約 60 分の距離に位置し、企業誘致においては優位性がなく不利な状況にありますが、今後**島原道路**の整備により諫早ICまでの所要時間が短縮されることから、企業誘致を一層推進することが求められる。＜島原市＞

【暮らし】

- 「**島原道路**」のインターチェンジに近接した地域において、交通の要衝としての利便性を活かし、幹線道路の交通量を踏まえ、本市を通過する自動車利用者や近隣住民の消費需要の受け皿となる**商業施設や生活利便施設の充実**により、さらなる利便性向上や市内消費の促進、中心市街地との相乗効果による賑わいの創出を図る。＜諫早市＞
- 島原方面及び大村方面、鹿島方面への広域幹線道路となる**島原道路**及び国道 34 号大村諫早拡幅、諫早北バイパスの 4 車線化、国道 207 号東長田拡幅（長田バイパス延伸）については、**慢性的な交通混雑解消や連携強化**のため、早期整備を促進。＜諫早市＞

【観光】

- 関係自治体の観光資源はもとより、歴史や自然等の地域資源を活かした**観光周遊ルート**の設定を図るため、九州観光機構や長崎県観光連盟、島原半島観光連盟などとの**広域連携**に取り組む。＜島原市＞
- 長崎市内や長崎空港から、並びに、島原半島内のバスやタクシーなど、**アクセスの改善・強化**を進める。＜雲仙市＞

【医療】

- 島原半島南部など、**県央区域への距離が遠く交通アクセスの悪い地域**があり、脳卒中、心筋梗塞、小児・周産期医療など、県南区域で担う医療を整理し、維持する。＜長崎県＞
- 医療機関や関係自治体との連携を一層強化し、**迅速に対応できる救急体制の充実**に努める。＜島原市＞

【防災】

- 緊急輸送道路をはじめ、事業中の地域高規格道路「**島原道路**」や拡幅整備予定の国道など広域幹線道路等の幹線道路は、災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、**緊急車両の通行を確保すべき重要な路線**となるため、その機能の維持や向上、整備促進を図る。＜諫早市＞

4. 政策目標(案)の設定

【産業】

【暮らし】

【観光】

【医療】

【防災】

地域の現状と課題	道路による要因	政策目標(案)
○島原地域は県内の農業産出額の約5割を占める農産物の生産地であり、出荷の際は対象区間や諫早ICを経由して全国各地へ輸送しているが、対象区間周辺は混雑や交差点の連続により定時性・速達性・走行性が低い。 ○企業誘致促進のために、広域交通ネットワークが必要不可欠であり、速達性の向上が課題。	○島原道路において唯一の未事業化区間が存在し、広域的な物流を担う広域交通ネットワークが不連続であることに加え、生活交通と通過交通の混在に起因した混雑の発生により、速達性・定時性・走行性が確保されていない。	①速達性・定時性・走行性の確保による産業活動の支援
○対象区間沿線には家電量販店やホームセンター等の集客力がある店舗が立地しており、休日の昼間を中心に混雑が発生。 ○対象区間の死傷事故率は県内直轄国道の約1.9倍と高く、走行安全性が課題。	○信号交差点の連続や生活交通と通過交通の混在、沿線商業施設の出入りに起因した混雑・交通事故の発生により、定時性・安全性が確保されていない。	②定時性・安全性の確保による生活利便性の向上
○島原地域には、温泉や歴史・自然など魅力ある観光スポットが半島全体に数多く分布。 ○観光振興を促進するために観光地と高速ICなどの交通拠点の速達性の向上や定時性の確保が課題。	○島原地域と交通拠点（諫早IC、諫早駅、長崎空港等）間の速達性・定時性が確保されていない。	③速達性・定時性の確保による観光振興の支援
○島原地域には、第三次救急医療施設がないため、重篤患者等の約4割は対象区間を利用して管外へ搬送しているが、走行性や速達性が低く、患者への負担が懸念 ○半島南部には第三次救急医療施設から60分圏外の地域が存在し、高度な医療をいち早く受けるための速達性の向上が課題	○対象区間は交差点が連続しており、救急搬送時にもかかわらず、ブレーキを繰り返す状況となり、走行性・速達性が確保されていない。	④走行性・速達性の確保による救急医療活動の支援
○対象区間は豪雨による浸水想定区域に多くの区間が含まれ、周辺では過去に洪水被害が発生しているほか、土砂災害警戒区域も存在。また、雲仙地溝北縁断層帯による地震発生時には、周辺で最大震度6強が想定され、液状化リスクが非常に高い区間も分布 ○災害に強い道路ネットワークの構築が課題。	○対象区間が通行止めになると、代替路が乏しく、広域な迂回が発生。	⑤災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築

5. 意見聴取方法(案)

5-1. 意見聴取(案)の概要

○意見聴取は、評価指標等を用いて地域がより重視する政策目標や配慮事項に関して意見を伺い、ルート帯や対応方針(案)の検討の参考とする。

○アンケート設問の設定(抜粋)

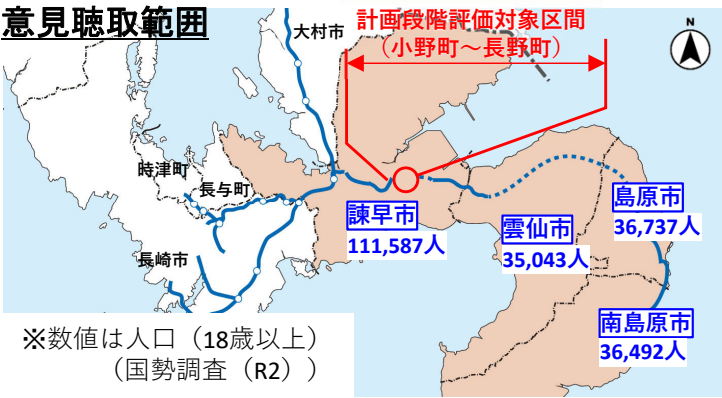
<政策目標(案)>	<アンケートにおける設問事項>
【産業】 ①速達性・定時性・走行性の確保による産業活動の支援	問1 : 地域の農産物の運搬など物流を支える広域・高速ネットワークが不十分だと感じる
【暮らし】 ②定時性・安全性の確保による生活利便性の向上	問2-1 : 通勤・通学など対象区間の移動に時間がかかると感じる 問2-2 : 交通混雑や沿道施設の出入り等が影響し、交通事故の危険性が高い区間だと感じる
【観光】 ③速達性・定時性の確保による観光振興の支援	問3 : IC、駅、空港などの交通拠点から島原地域の観光地への移動に時間がかかったり、所要時間が予測しにくいと感じる
【医療】 ④走行性・速達性の確保による救急医療活動の支援	問4 : 地域内外の医療機関や、大村市等の高度な医療機関への円滑な移動・搬送に不安を感じる
【防災】 ⑤災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	問5 : 災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる

5-2. 意見聴取方法について

○意見聴取は島原道路沿線で自治体へのヒアリング、団体及び企業、地域住民へのアンケート、オープンハウス、留置きを実施予定。

意見聴取の対象

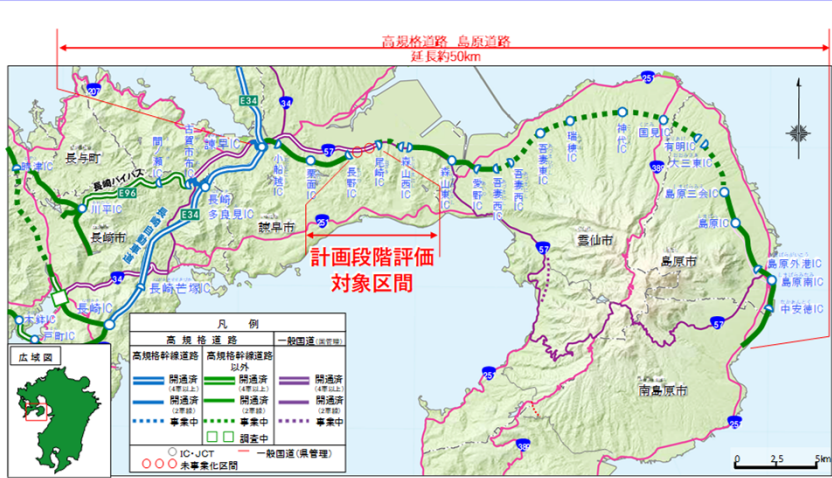
- ※1 ヒアリングは、自治体および企業等へ対面方式等で意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。オープンハウスの周知は市報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取。
(1世帯あたり、アンケート回答用返信ハガキを4枚同封予定)
- ※4 郵送・Webでのアンケート回答も可能とする。



対 象 者		
ヒアリング ※1、※4	【沿線自治体】長崎県・諫早市・島原市・雲仙市・南島原市への意見聴取	
	沿線自治体：長崎県、島原市、諫早市、雲仙市、南島原市	5自治体
	【団体】長崎県・諫早市・島原市・雲仙市・南島原市の団体への意見聴取	
	各団体等：トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所、消防署、農業協同組合、漁業協同組合、観光協会、医療機関など	20団体程度
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【企業等】長崎県・諫早市・島原市・雲仙市・南島原市の関係企業への意見聴取	
	各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	主要100社程度
	【地域住民・広域的な道路利用者】市役所等にオープンハウスを設置	
	諫早市：諫早市役所、道の駅「251いいもりじゃがロード」等 島原市：島原市役所、島原港等 雲仙市：雲仙市役所、多比良港等 南島原市：南島原市役所、道の駅「ひまわり」、口之津港等	10箇所程度
アンケート ※3、※4	【地域住民】諫早市・島原市・雲仙市・南島原市の地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取	
	諫早市（53,235世帯、111,587人）	約3,600部（抽出）
	島原市（17,095世帯、36,737人）	約1,200部（抽出）
	雲仙市（15,141世帯、35,043人）	約1,200部（抽出）
留置き・HP等	南島原市（16,060世帯、36,492人）	
	約1,200部（抽出）	
	【地域住民】諫早市・島原市・雲仙市・南島原市の役所等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し、意見聴取	
	・諫早市役所、島原市役所、雲仙市役所、南島原市役所	
WEBモニター アンケート	【広域的な道路利用者】観光施設等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し、意見聴取	
	・国、県、市のホームページ等にWEBアンケートの案内を掲載し、意見聴取	
	・道の駅251いいもりじゃがロード、道の駅ひまわり、多比良港、島原港、口之津港等	
	・HP掲載：国土交通省、長崎県、諫早市、島原市、雲仙市、南島原市等	
WEBモニター アンケート	【広域的な道路利用者】Webモニター調査により意見聴取	
	1年以内に1回以上、小野町～長野町間を通ったことのある、又は将来通りたいと考えている沿線地域（島原市・諫早市・雲仙市）を除く九州地方在住の方	400票程度

■調査の趣旨、調査対象箇所、計画段階評価の流れについて説明

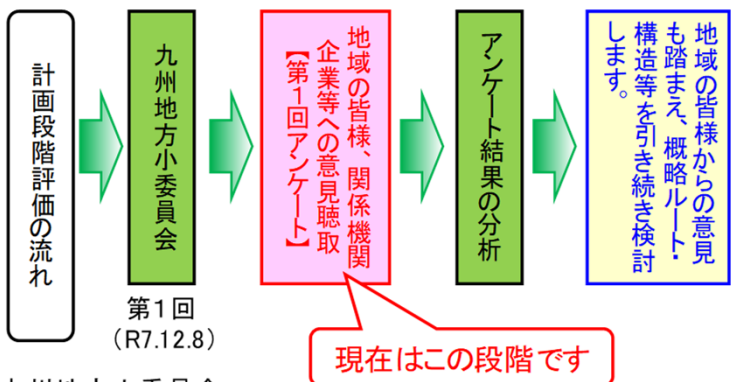
島原道路(小野町～長野町)の対象区間位置図



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

島原道路(小野町～長野町)の道路計画に関する
第1回アンケートにご協力をお願いいたします

島原道路は長崎県南島原市を起点として島原市、雲仙市を経由し諫早市に至る延長約50kmの道路です。

本調査は、島原道路(小野町～長野町)の道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞きするものです。本アンケートへのご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者

- 本アンケートは、諫早市、島原市、雲仙市、南島原市にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。
- 本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方を対象と考えております。お手数とは思いますが、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。
- 幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力をお願いしたく、「アンケート回答用返信はがきを4枚同封しております。(対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。)」
- なお、ご協力頂けるにも関わらず、アンケート回答用返信はがきが不足している場合は、お手数ですが、以下の問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

■回答の提出方法及び締切

- 回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。
- 【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、
令和7年9月30日(金)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。
- 【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、
令和7年9月30日(金)までに、回答してください。
- A 右記URLをアドレスバーに入力
- B QRコードからアクセス QRコードはこちら →

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

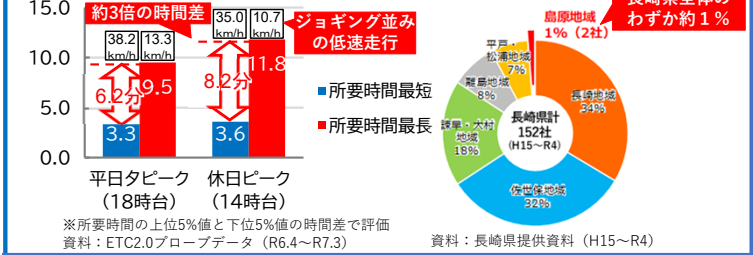
■現道の課題について説明

地域・道路交通の状況と課題

1 産業

円滑な物流活動・企業誘致を阻害

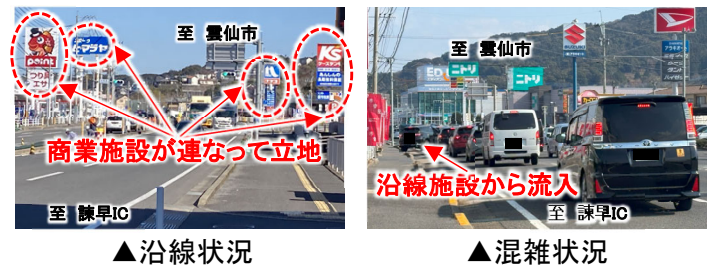
- ◆国道57号は、農産品等の物流を担う道路ですが、対象区間周辺は混雑により定時性が確保されておらず、輸送時の品質確保に不安がある等、物流活動に支障をきたしている状況です。
- ◆また、島原地域は高速ICへの速達性が低く、企業誘致が進んでいない状況です。
- ◆円滑な物流活動や企業誘致の推進のために、速達性の向上や定時性・走行性の確保が課題です。



2 暮らし

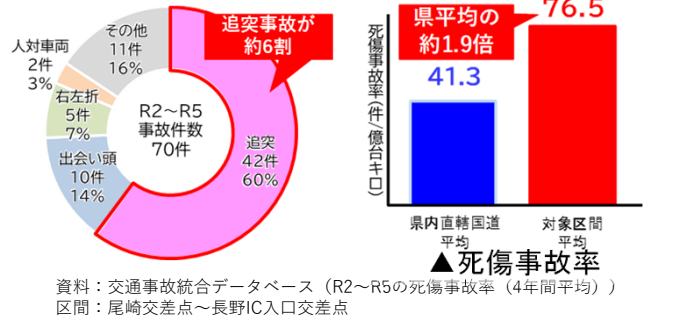
休日を中心に交通混雑が発生

- ◆国道57号は、観光・物流等を目的とした通過交通と生活交通が混在している状況です。
- ◆また、沿線には商業施設が連なって立地しており、出入り等に起因して休日を中心に交通混雑が発生し、定時性の確保が課題です。



交通事故が多い区間

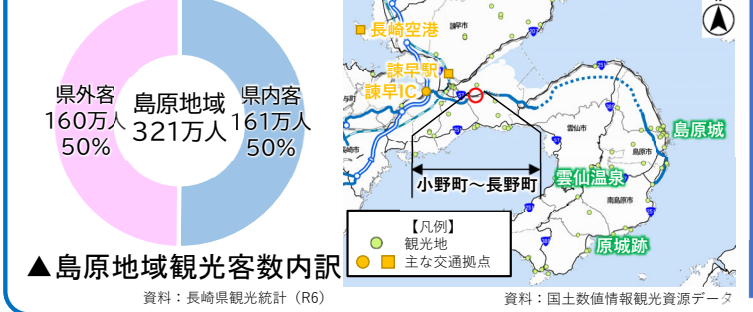
- ◆対象区間の国道57号では、沿線商業施設への速度低下等により混雑しているため、追突事故の発生が多い状況です。
- ◆死傷事故率は県内直轄国道平均の1.9倍と高く、安全性の確保が課題です。



3 観光

交通拠点と観光地間の速達性・定時性が低い

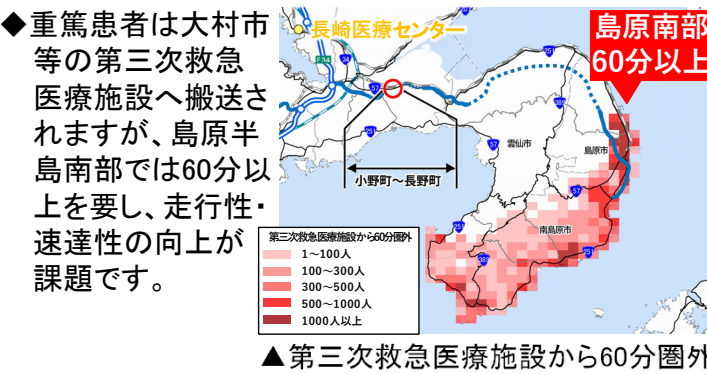
- ◆島原地域への観光客は約半数が県外からの来訪であり、主に諫早IC、諫早駅、長崎空港等の交通拠点を介して来訪している状況です。
- ◆観光振興のために、交通拠点と観光地間の速達性の向上や定時性の確保が課題です。



4 医療

地域内外の医療機関への搬送に時間がかかる

- ◆対象区間の国道57号は、交差点が連続しており、救急搬送時にも関わらずブレーキを繰り返す状況です。
- ◆重篤患者は大村市等の第三次救急医療施設へ搬送されますが、島原半島南部では60分以上を要し、走行性・速達性の向上が課題です。



資料：ETC2.0データ (R6.4~R7.3の平日昼間12時間平均)、メッシュ人口 (R2国勢調査)

5 防災

災害時の通行止めが懸念

- ◆対象区間は、洪水や土砂災害、地震による液状化のリスクが存在します。
- ◆通行止めになると、広域なう回が発生するため、災害に強い道路ネットワークの構築が課題です。

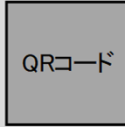


アンケートにお答えください

回答は、返信用はがきにご記入、または、アンケートサイトでご回答をお願いします。

下記を参考に、同封の返信用はがきへ必要事項を記入して郵便ポストに投函、または、QRコードからアンケートサイトにアクセスして回答をお願いします。

- ・あなた自身のことに関する設問は、記入または該当する番号に○を付けてください。
 - ・単一回答の設問は、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
 - ・5段階評価の設問は、各課題の該当する番号を1つだけ○で囲んでください。
 - ・自由回答の設問は、具体的な内容を回答して下さい。
- QRコードはこちら →
※QRコードは(株)デンソー
ウェブの登録商標です



あなたご自身のことについてお尋ねします。

年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	5. 50代	6. 60代	7. 70歳以上	
性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 回答しない
住所	1. 諫早市	2. 島原市	3. 雲仙市	4. 南島原市
	5. その他()			

質問1 国道57号(小野町～長野町間)の利用状況について

国道57号(小野町～長野町間)の利用状況についてお尋ねします。【該当する番号に○を付けてください】
※利用目的と移動手段は、平日・休日別に回答ください。

【利用頻度】(単一回答)

1. ほぼ毎日(週4～7日)
2. 週に1～3日程度
3. 月に数回程度(週1日未満)
4. ほとんど利用しない
5. 利用したことがない

【利用目的:平日】(単一回答) 【利用目的:休日】(単一回答)

1. 通勤・通学	1. 通勤・通学
2. 買い物	2. 買い物
3. 観光・レジャー	3. 観光・レジャー
4. 通院	4. 通院
5. 業務	5. 業務
6. その他	6. その他
7. 利用しない	7. 利用しない

【移動手段:平日】(単一回答) 【移動手段:休日】(単一回答)

1. 自動車	1. 自動車
2. バス	2. バス
3. バイク	3. バイク
4. 自転車	4. 自転車
5. その他	5. その他
6. 利用しない	6. 利用しない

質問2 国道57号(小野町～長野町間)の課題について

国道57号(小野町～長野町間)に関する5つの課題(6項目)を5段階で評価してください。(5段階評価)
【①～⑤の課題について、1～5のいずれかに○を付けてください】

分類	番号	課題	とても 思う	やや 思う	あまり 思わ ない	まったく 思わ ない	わから ない
産業	①	物流を支える広域・高速ネットワークが不十分だと感じる	1	2	3	4	5
暮らし	②-1	通勤・通学など対象区間の移動に時間がかかると感じる	1	2	3	4	5
	②-2	交通混雑や沿道施設の出入り等が影響し、交通事故の危険性が高い区間だと感じる	1	2	3	4	5
観光	③	IC、駅、空港などの交通拠点から島原地域の観光地への移動に時間がかかったり所要時間が予測しにくいと感じる	1	2	3	4	5
医療	④	地域内外の医療機関や、大村市等の高度な医療機関への円滑な移動・搬送に不安を感じる	1	2	3	4	5
防災	⑤	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めによる不安を感じる	1	2	3	4	5

質問3 国道57号(小野町～長野町間)の課題について(理由)

「質問2」でお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)

番号	理 由
記入例	●●時に利用するが、いつも渋滞しているから
①	
②-1	
②-2	
③	
④	
⑤	

質問4 国道57号(小野町～長野町間)の課題について(その他の課題)

「質問2」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的にお書きください。(自由回答)

(記入例)
日常的に●●で困ることがあるので、●●することが必要ではないかと思う。

質問5 その他について

その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)

本調査は、島原道路(小野町～長野町)の道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞きするものです。
そのため、このはがきに記入されたことは、この目的以外に使用いたしません。
回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます)

ご協力ありがとうございました

(表 面)

郵便はがき

料金受取人払郵便

長崎東局
承認

● ● ●

差出有効期間
令和8年●月
●日まで

切手不要

8	5	1	0	1	2	1
---	---	---	---	---	---	---

長崎県長崎市宿町316-1

島原道路(小野町～長野町)

計画段階評価 事務局 行

(国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所内)

下記にチェックおよびご記入をお願いします。

あなたご自身のことについてお尋ねします。

【記入または該当する番号に○を付けてください】

年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
	5. 50代 6. 60代 7. 70歳以上
性別	1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない
住所	1. 諫早市 2. 島原市 3. 雲仙市 4. 南島原市
	4. その他()

質問1 国道57号(小野町～長野町間)の利用状況についてお尋ねします。

【該当する番号に○を付けてください】(単一回答)

利用頻度	1. ほぼ毎日(週4～7日) 2. 週に1～3日程度
	3. 月に数回程度(週1日未満) 4. ほとんど利用しない
	5. 利用したことがない
利用目的	【平日】
	1. 通勤・通学 2. 買い物
	3. 観光レジャー 4. 通院
	5. 業務 6. その他
	()
	7. 利用しない
	【休日】
	1. 通勤・通学 2. 買い物
	3. 観光レジャー 4. 通院
	5. 業務 6. その他
	()
	7. 利用しない
移動手段	【平日】
	1. 自動車 2. バス
	3. バイク 4. 自転車
	5. その他
	()
	6. 利用しない
	【休日】
	1. 自動車 2. バス
	3. バイク 4. 自転車
	5. その他
	()
	6. 利用しない

(裏 面)

質問2 国道57号(小野町～長野町間)に関する5つの課題(6項目)を5段階で評価してください。(5段階評価) 【①～⑤の課題について、1～5のいずれかに○を付けてください】							
分類	番号	課 題	とても 思う	やや 思う	あまり 思わ ない	まったく 思わ ない	わから ない
産業	①	物流を支える広域・高速ネットワークが不十分だと感じる	1	2	3	4	5
暮らし	②-1	通勤・通学など対象区間の移動に時間がかかると感じる	1	2	3	4	5
	②-2	交通混雑や沿道施設の出入り等が影響し、交通事故の危険性が高い区間だと感じる	1	2	3	4	5
観光	③	IC、駅、空港などの交通拠点から島原地域の観光地への移動に時間がかかったり所要時間が予測しにくいと感じる	1	2	3	4	5
医療	④	地域内外の医療機関や、大村市等の高度な医療機関への円滑な移動・搬送に不安を感じる	1	2	3	4	5
防災	⑤	災害に強い高規格の道路がないため、災害時の通行止めに不安を感じる	1	2	3	4	5

質問3 「質問2」でお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)	
番号	理 由
①	
②-1	
②-2	
③	
④	
⑤	

質問4 「質問2」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的にお書きください。(自由回答)

質問5 その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)